

平成 18 年 7 月 13 日

各位

東京都渋谷区渋谷 1 丁目 17 番 8 号  
日本エンタープライズ株式会社  
代表取締役社長 植田勝典  
(コード番号 4829 ヘラクレス市場)  
問合せ先: 取締役管理本部長 田中勝  
TEL: 03-5774-5730

## 中国における事業の進捗について

日本エンタープライズ株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：植田勝典）が既に発表いたしました中国事業に関する進捗をお知らせいたします。

### 1. 教育事業の進捗について

平成 18 年 2 月 8 日に発表いたしました、当社子会社である因特瑞思（北京）信息科技有限公司（本社：中国北京市 代表者：植田勝典 日本エンタープライズ（株）100%子会社 以下、エンタープライズ北京）と江南大学（所在地：中国江蘇省無錫市 学長：陳 堅）との産学連携プロジェクトにつきましては、大学教育開始へ向けての協議を進めておりますが、相互単位認定（ダブルディグリー制度）等の準備の遅れにより、当初予定しておりましたスケジュールに遅れが発生する見込となっております。これに伴い、両者による協議の結果、教育事業の運営を担当する合弁会社設立につきましても、事業開始にあたっての準備について全ての目処がついた時点で、申請を開始する事となりました。大学教育開始ならびに申請の時期につきましては、具体的な日程が出次第ご報告申し上げます。

大学教育に関しましては以上の状況となっておりますが、それらに先行してデジタルデザイン教育に特化した無錫曙光技工学校との業務提携により「携帯アニメーション教育プログラム」を専門学校教育として開講いたします。これにより、大学学部開設に向けた教師の育成ならびにカリキュラムの検証も並行して実施する予定となっております。また、これらの専門学校教育については、北京などの大都市圏での展開も検討してまいります。

#### 「携帯アニメーション教育プログラム（動漫培訓）」概要

参加組織 : ①因特瑞思（北京）信息科技有限公司（中国北京市）

代表者 植田勝典

②無錫曙光技工学校（江蘇省無錫市）

代表者 邵建新

デジタルデザイン教育に特化した専門学校

開講クラス : 携帯アニメーション教育プログラム

授業内容 : 美術概論、デザイン概論、デジタルツールを使用した動画・静止画制作

携帯向けアニメーション制作、携帯アニメーションマーケット論

開講予定 : 平成 18 年中

### 2. 北京金薔薇広告会社との合弁会社設立について

平成 17 年 7 月 8 日に発表いたしました、当社子会社である因特瑞思（北京）信息科技有限公司（本社：中国北京市 代表者：植田勝典 日本エンタープライズ（株）100%子会社 以下、エンタープライズ北京）と北京金薔薇広告会社（所在地：中国北京市 代表者：周荅 以下、金薔薇社）による地上デジタル放送事業を主事業とする合弁会社設立について、その後、両社にて地上デジタル放送事業への参入に向けた準備を進めるとともに、コンテンツ事業における協業を進めてまいりました。

しかしながら、地上デジタル放送事業につきましては、CS放送の拡大により市場形成に遅れが生じており、参入には時期尚早との判断から当該合弁会社の設立を現時点において見合わせることにいたしました。

今後は、地上デジタル放送市場の動向を注視しながら、継続して当社中国グループのコンテンツ事業における実効性の高い協業を進めることにいたします。

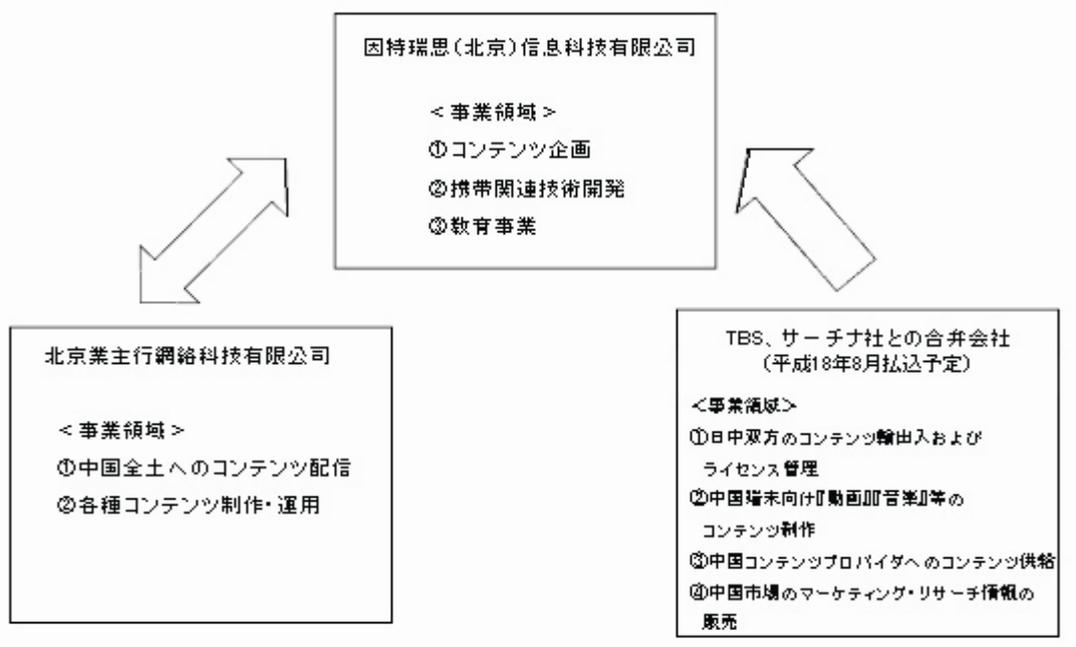
### 3. 上海訊彩網絡科技有限公司買取の中止について

平成 18 年 3 月 20 日に発表いたしました当社の子会社である北京業主行網絡科技有限公司（本社：中国北京市 代表者：顔 兵 日本エンタープライズ（株）100%子会社）の上海訊彩網絡科技有限公司（本社：中国上海 代表者：張 晨）の全持分取得による企業買取につきまして、発表よりこれまで、買取に向けた協議ならびに買取調査を行ってまいりました。その途上におきまして、当社が認知しえなかった上海訊彩網絡科技有限公司に関する事実が明らかとなり、当社といたしましては現在の状況において協議の続行は当社に不利益と判断し、買取に向けた協議を中止いたしました。

今後の中国におけるコンテンツ配信事業につきましては、全国ライセンスを保有する北京業主行網絡科技有限公司を中心として、配信範囲と規模を拡大してまいります。

当社グループにおける中国事業は、以下の 3 社体制にてコンテンツ事業を中心に推進しており、現在、着実に進捗している状況であります。

#### 現在の中国事業構成



以上